

P1700-1

対象商品 P1700 シリーズ

## 電球の交換・お手入れ

## 電球の交換について

電球は、器具表示のランプをご使用ください。指定以外の電球を使用すると、火災の原因となることがあります。

## 電球の交換方法

1. 電源を切り器具の温度が下がってから行って下さい。

→やけどの原因となることがあります。

2. ガラスグローブを外さなくとも電球は交換可能です。

3. 本体下部からスクリュードライバで直接球を交換してください。

## お手入れについて

・明るく安全にご使用いただくために、定期的に清掃、点検してください。(6ヶ月に1回程度)

・汚れを落とすには、石けん水にしたしめた布によくしぼってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

・シナジー、ベンジン等揮発性のものであなたり、殺虫剤をかけないで下さい。変色・破損の原因となります。

・照明器具の取り替え目的の日安は、通常の御使用状態において約8年から10年です。安全上使用するために、5年に1回程度の器具の点検および、6ヶ月に1回程度の清掃を行つようにして下さい。

△ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。



お客様へ お買い上げありがとうございました。ご使用の前にお読みのうえ、正しくお使いください。  
本書は必ず保管してください。尚 説明図は、抽象化した共通図です。

## △ 警告

- 器具を改造したり部品交換をしないでください。火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- ランプは器具表示の物を使用してください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因となります。
- 異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。工事店、販売店にご相談ください。
- 器具や電球（ランプ）を布や燃えやすいもので覆わないで下さい。火災、感電の原因となります。

## △ 注意

- 本体の取扱、取外しは、工事店、販売店に依頼してください。
- 点灯中や消灯直後のランプにさわらないでください。ランプの周辺が加熱しておりやけどの原因になります。
- 器具の近くにヒートスターなど、温度の高くなる物を置かないでください。火災の原因となります。

## 仕様

室内用	室内専用です。屋内に設置してご使用ください。
-----	------------------------

## 定格

使用電圧 A C 1 0 0 V	使 用 電 球 E 1 7 4 0 W シャンデリア電球
---------------------	---------------------------------

## VIGAL ヴィガル

## 照明器具 施工説明書

## 安全に関するご注意

器具の施工には、電気工事士の資格が必要です。必ず工事店、電器店に依頼してください。

## △ 警告

- この器具は、室内用・吊り下げ照明器具です。下記の使用環境、条件では使用しないで下さい。感電・火災・落下的原因となります。
- 常時、周囲温度が35℃以上になる所。
- 風呂場など、常に湿気の多い(85%以上)所。
- 振動、衝撃の激しい所や、腐食性ガス・可燃性ガスの生じる所。
- 粉塵の多い所。
- 床面、壁面への取付。
- 器具の施工は、施工説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると火災、感電、落下的原因となります。
- 取付方向の指示をまもって下さい。指示以外の取付をすると火災・落としてけがの原因になります。

## △ 注意

- 器具に表示された電源電圧の±6%以内で使用して下さい。火災・感電の原因になります。
- 温度の高くなる物の上に取付しないで下さい。ガス機器やその排気管の付近に取付けないで下さい。火災の原因になります。

## 各部の名前と付属品

△ 注意 施工前に部品をご確認ください。

## 付属品

本体(真鍮製) = 1ヶ

ガラスグローブ = 1ヶ

グリル(真鍮製) = 1ヶ

電球 = 1ヶ

天井フランジ=1ヶ

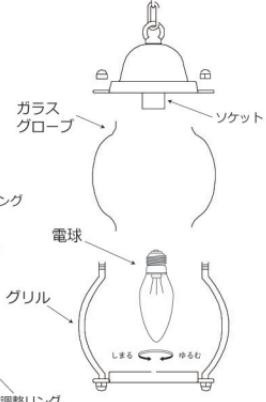
ペンダントリング = 1ヶ

角形引掛シーリング用キャップ

ペンダントリング

天井フランジ

天井すき間調整リング



## 天井面への取付け

## △ 注意

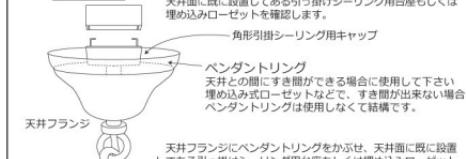
- 既に設置されている引っ掛けシーリング台座、埋め込みローゼットの天井面への取付け強度が器具品の重量（真鍮チューブ等含む）に耐えられない場合は取付できません。
- 純正天井面への取付は、30度までですが、吊りフック等を使用すれば、45度まで対応できます。吊りフックに際しましては一般市販品でチューブ等を含んだ重壓に耐える商品をご使用ください。

## 取り付け方

△ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

天井とフランジの間にすき間ができる場合は、付属のペンドントリングを使用してください。

## 天井面



天井フランジにペンドントリングをかぶせ、天井面に既に設置してある引っ掛けシーリング用台座もしくは埋め込みローゼットに角形引掛シーリング用キャップを取り付けて下さい。しっかりとロックがかかるまで確実に取り付けて下さい。

## 天井面

## ペンドントリング

## 天井フランジ

## 天井すき間調整リング/小ネジ

## 天井部分に取り付けた後、天井フランジと天井部分のすき間調整を

天井すき間調整リングの小ネジを固定して使い行って下さい。

チエーンを延長される場合は本体とフランジ部分の総重量が3kg以下になる範囲で行って下さい。

許容重量を超えますと天井面に既に設置してある引っ掛けシーリング用台座もしくは埋め込みローゼット破損し落下不ぞくは、火災の原因になります。